

絆甲子園へのご招待について（御礼）

残暑の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、絆甲子園にご招待を頂き心より感謝申し上げます。

大会中は、あらゆる場面で多大なご支援、ご配慮を賜り選手、指導者そして保護者一同心熱くなる思いでした。

3月11日の東日本大震災を境に被災地では、「元の生活が取り戻せるのか？」
「この地域の復興はあるのか？」といった、人が生きていく上での最低限の環境の整備が最優先の課題であり、スポーツをすとか野球をすなどといった雰囲気は考えられる状況ではありませんでした。しかし1ヶ月、2ヶ月と時が経つにつれ全国各地からの救援、支援の輪が広がり、被災地にもスポーツがやれる野球がやれるといった雰囲気が徐々に戻ってきました。ボールを握り野球ができることが嬉しくてたまらない子供たちの表情は、つらい被災地の一筋の光明にもなりました。

そうしたなかこの度の絆甲子園へのご招待は、被災地とそれを支援してくれている地域の子供たちの架け橋となって頂けたと心より感銘を受け、本当に嬉しくてたまりませんでした。

これを機に、今大会に集まった仲間が絆をより一層深め5年後、10年後と被災地復興そして東北、日本の復興の中心的役割を果たせるよう心よりご祈念するものです。

最後になりますが、絆甲子園開催に際しご尽力頂いた全ての方々に厚く感謝申し上げます、御礼の挨拶と致します。本当にありがとうございました。

平成23年8月吉日

石巻中央リトルシニア

会 長 齋藤 匡

監 督 高橋 功

保 護 者 一 同